

今後の審議テーマに関する委員アンケート結果

回答数	検討テーマ候補
1票	(1) 学校給食経費の低減策 設備償却を勘案して全体の学校給食運営経費を調査し、今後の費用低減策を見出す議論。
1票	(2) スポーツ施設の収支バランスの改善 指定管理者の費用の使い方を調査、民間スポーツ施設運営会社と比較して運営能力の優劣を明確にした上で、収支バランスの改善策を議論。
0票	(3) 財政の複式簿記化 企業（経営）の基本である複式簿記化で、市財政の現状と課題を整理。
3票	(4) 企業自治体のための組織のあり方 住民サービスだけではなく、「企業」という観点で行政をみた時の組織の改善点を議論。
1票	(5) 協働のあり方 市民に、市に対して何が出来るかを問う事が本来の市民自治活動とすれば、市の立ち位置は如何にあるべきか議論。
1票	(6) 儲かる事業の提案 ①中心市街地のあり方、②農業・林業のあり方、③観光のあり方、④企業誘致と行政のあり方、⑤交通基盤のあり方 など「選択と集中」、「スクラップ&ビルド」を含めた議論。
6票	(7) 行革審提言事項のモデル事例研究 行革審提言の中からシンボリックな事例を選定し、具体化に向けた道筋を市職員と一緒に議論し、改革モデルを提案。例：さんりーな、掛川城周辺エリア
4票	(8) 規制緩和等による活性化モデル研究 土地利用や開発行為など行政の規制緩和による土地利用増進、業務集積や商業集積、定住促進などによる新都市開発、既存市街地活性化モデルを市職員と一緒に研究。 ①地方都市が衰退した歴史的事実の検証 ②規制や保護・補助が返って成長を阻害する事例 ③上記①、②を踏まえたまちの活性化モデルづくり
3票	(9) 市業務の協働化のガイドライン 業務の協働化手順に関し、協働化業務の仕様決定とその前提条件、達成レベル設定、手続き・監督行為の簡素化、担い手組織の具備条件などを議論。
<p>☆「①市第2次改革プランの審議」と「②行革審独自テーマの検討」それぞれに掛ける時間配分は、50:50が適当とする意見が最も多かった。その他意見は60:40、70:30、20:80など。</p> <p>&lt;委員からのコメント&gt;  ○分科会形式でなく全体（全員）での議論が望ましい。  ○市改革プランの審議という重要事項があるため、時間的にも2つないし3つのテーマを扱うのが適当ではないか。  ○事業を再構築しようとしているので、方向性を理念化していくためにも必要に応じて専門家の話を聞いてみてはどうか？</p>	